

第33回野地杯九州少年サッカー大会

活動写真

▼スカウティング



▼ミーティング



★試合後のミーティング★

ベンチでスカウティングをしていた選手がファシリテーター(まとめ役)として話し合いを進めていきます。

ファシリテーターは、肯定的な立場でみんなの意見を聞きチームの改善点や次への目的を決めていきます。

★コーチから★

それぞれがお互いをよく理解し、チームのために自分のできることを全力でやってほしいと思っています。

個々のレベルアップは必ずチーム力アップに繋がります。日々、努力を継続させよう。

令和元年5月3日～4日、第33回野地杯に参加してきました。

6年生12名での参加、県外のチームとの試合経験と学童五輪に向けての調整を目的とし、2日間を過ごしてきました。現地では、天気にも恵まれよい環境(芝)の中でおもいっきりサッカーを楽しむこともできました。

～2日間の試合結果報告～

[1日目予選]

1試合目	TAIKEN熊本	3-0	大野FC
シュート本数	(8本)		(5本)
2試合目	TAIKEN熊本	1-2	太陽宮崎南
シュート本数	(6本)		(12本)
3試合目	TAIKEN熊本	0-6	桜FC
シュート本数	(4本)		(17本)



[2日目(4位トーナメント)]

1回戦	TAIKEN熊本 1-1 門川 PK(4-3)
シュート本数	(7本) (8本)
2回戦	TAIKEN熊本 1-1 KSC PK(3-1)
シュート本数	(11本) (5本)
決勝戦	TAIKEN熊本 1-4 綾錦原
シュート本数	(5本) (11本)

[サッカー面]

「チーム目的の理解」

個人個人が繋がりを持ち、チーム全体で戦う意識が大切。サッカーはチームプレー単独では簡単に勝つことはできません。

トレーニングでやっているグループ戦術を試合中にどう使うか、お互いのタイミングとイメージを合わせる事。常に、状況判断や考えることを継続させながら、試合に臨んでほしいですね。

「やる気」

それぞれのモチベーションには個人差がありますが、失敗を気にせず目の前の勝負に必死になって取り組んでほしいと思います。

各家庭でも、子ども達のやる気ができるような声掛けをよろしくお願い致します。マイナスな言葉よりもプラスな言葉を心掛けましょう。小さなことから褒めてあげましょう。

[生活面]

試合の準備など、意識的に行動している子が増え、チーム全体として良い傾向が見られました。挨拶は場所によってできたりできなかったり…。

いつでも誰にでも挨拶ができるよう声掛けがまだまだ必要に感じました。

遠征中の楽しみでもある自由時間では、仲良く宿舎の自動販売機へ何度も足を運んでいましたね。

糖分の取りすぎに注意！！(笑)

楽しい時間の過ごし方で大きな声で叫んだり、暴れまわったりと一晩中ザワザワ…。

宿舎では静かに過ごしましょう。

